



蔵盛塾通信

第18号平成24年2月26日発行

塾長の蔵盛です。今回は「塾に通うメリットは何？」というテーマで話したいと思います。

忘れた頃に復習させる

ご家庭に中3のお子さんがおられたら、次の問題を解かせてみて下さい。(答えは伏せて)

① 次の式を因数分解せよ。

$$2x^2 - 2x - 24$$

② 次の2次方程式を解け。

$$2x^2 - 2x - 24 = 0$$

①の正解は

$$2x^2 - 2x - 24$$

共通因数の2でくくる

$$= 2(x^2 - x - 12)$$

$$= 2(x - 4)(x + 3)$$

②の正解は

$$2x^2 - 2x - 24 = 0$$

両辺を2でわる

$$x^2 - x - 12 = 0$$

$$(x - 4)(x + 3) = 0$$

$$x - 4 = 0 \text{ または } x + 3 = 0$$

$$x = 4 \text{ または } x = -3$$

$$x = 4, -3$$

①(因数分解)は中3の5月、②(2次方程式)は中3の7月に学校で習う内容です。

それらを習った直後は、ほとんどの生徒がスラスラ解けます。しかし、数ヶ月経過した今の時期に、同じ問題を解かせると、次のような誤答が数多く見られます。

①の誤答例

$$2x^2 - 2x - 24$$

$$x^2 - x - 12$$

$$(x - 4)(x + 3)$$

$$x = 4, -3$$

②の誤答例

$$2x^2 - 2x - 24 = 0$$

$$= 2(x^2 - x - 12)$$

$$= 2(x - 4)(x + 3)$$

これは因数分解と2次方程式を混同したことによるものです。それを防ぐには、①と②の違いを意識させながら**忘れた頃に復習**させなければなりません。しかし、それを独学で行うのはかなり無理があります。そこで塾の存在価値が問われるのです。どんな塾でも、生徒が間違えやすい箇所を忘れた頃に効率よく指導してくれます。高い月謝を払う価値は十分あります。お子さんを塾に入れるかどうか迷っている保護者の方、ぜひ塾に入れてみて下さい(できれば蔵盛塾へ)。お子さんはきっと独学では得られない何かを習得して、今まで以上に前向きに勉強に取り組んでくれると思います。